

理科学習指導案

単元名：

「科学の力を感じて」

(全1時間扱い中 第1時)

授業日時 2019年9月17日(火) 第1校時

授業学級 6年2組

授業会場 6年2組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

児童は、身近にある科学の不思議を体験することで理科的な見方、考え方を感じ、現象に対して疑問や興味を持つことができる。

(2) 授業のポイント

- ・理科の授業の場面で、楽しそうに活動をする子ども達が、理科に対する興味や関心を持った。【前時までの子どもの様子】
- ・実験を通して、不思議な事象を紹介する。【授業者の手立て】

(3) 展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. 自分の理科に対する思いや理科の教師になろうとしている話を聞く。 2. 演示実験をする (金属パイプの中を通る磁石の実験)	どうして遅くなるんだろう 不思議だな どうなってるんだろう 磁石が何か影響してそう 銅と塩ビってどんな違いがあったかな もう1回見てみたい	○「今日はみんなに不思議な体験をしてもらおうと思います。」 ○「どうして落ちるのが遅くなったのかな」 ◇全員が見えるような状況をきちんと作る。ネオジウム磁石の管理をきちんとする。 ★塩ビパイプ 銅パイプ ネオジウム磁石 クリップ タオル 問題：どうして磁石が落ちる時間が遅くなるのだろうか	10
【学習課題】どのような仕組みなのか考えてみよう				

展開	2. 磁石や金属について振り返る。	磁石：鉄にくっつく 金属：電気が通る 金属光沢 のびたり、広げたりできる	○「予想する前に磁石や金属について知ってることあるかな」	5
	3. 1人で予想や仕組みについて考える		○「まずは自分1人で考えてみよう」 ○「班になって一緒に考えてみよう」	15
	4. 班になって予想をする。	磁石がくっついてるからだ。 何か仕掛けをしている 銅が関係してそうだな	◇やりたい人がいれば実際にやらせてあげる ◇各班を回って実演をする。 ★金属パイプの中が見える動画 もしくは実演 ★プリント	
	5. 予想を発表する。			
終末	6. PowerPointで仕組みについて知る	磁石の力でゆっくりになるんだ 磁石にはくっつくだけでなく いろんな性質があるのか もっと調べてみたい	★PowerPoint	10
	7. ワークシートに振り返りをする。	【評価(対象)】科学の不思議に対して自分の考えを書けることができる(ワークシート) アンケート形式		5